

みんなのた場

サークル仲間 ⑫ 健康増進と技競う喜び 新たな出会いも楽しみ

石巻市桃生パークゴルフ協会

県パークゴルフ協会加盟の18協会で3番目に古い桃生町パークゴルフ協会が前身で、平成24年4月、石巻市桃生パークゴルフ協会に改称しました。

現在は、桃生地区と近隣の登米市豊里・米山地区の63歳から90歳までの93人が会員になっています。平成30年10月にオープンした「桃生植立山公園パークゴルフ場」を拠点に、毎月1回ずつ月例会と大会を開催しながら、会員の親睦・交流と健康増進に努めています。協会の活動だけでなく、

毎年、石巻市民パークゴルフ大会や県パークゴルフ協会主催の県選手権大会をはじめ、市内外で開催されるさまざまな大会にも参加してきました。しかし、令和2年度はコロナ禍の影響で、そのほとんどが中止となりました。桃生協会も例会や大会の中止を余儀なくされましたが、7月13日から活動を再開することができました。

パークゴルフの魅力について、会員の皆さんは「4コース回ると4,500歩、5,000歩も歩くので、足

腰が丈夫になる」と健康づくりに大いに役立つことや、「ゴルフと同じように打数で順位を競うので、スコアを少しでも減らすことが生きがいになります」と、例会や大会のない日もパークゴルフ場に通って技術を磨くことで日常生活が充実している人も少なくありません。

全国大会3位入賞の経験がある指導普及部長の梁川ともゑさんは「さまざまな大会に出場することで、県内外のいろいろな人と話ができ、友達が増えるのも楽しみです」と交流の輪を全国に広げられることも魅力の一つに付け加えます。

高橋冠(かほしむね)会長は「例会や大会の際は、マスク着用や消毒、検温などの対策を徹底しています。ぜひ多くの方にパークゴルフの楽しさを体験してほしいです」と、新規入会を歓迎しています。



協会主催大会でナイスショット!



協会の運営を支える役員の方

文化財 たんぽう 116

『宮城県の文化財』完結

生涯学習課

県教育委員会では、県内のすべての指定文化財を網羅した『宮城県の文化財』を、平成27年度から指定文化財の種類別に順次刊行しています。今年度末刊行の「無形文化財・民俗文化財・保存技術編」をもって完結します(各編所載の市内の主な指定文化財は別表のとおり)。これらは県内の指定文化財のデータベースとなるものです。1点1点、カラー写真と簡潔な文章で紹介していきますので、読みやすくわかりやすい内容となっております。文化財は「我が国の長い歴史の中で生まれ、はぐくまれ、今日まで守



り伝えられてきた貴重な国民的財産(文化庁ホームページから引用)であり、先人が残した貴重な文化財を確実に残していくことが、現代に生きる私たちの役割でもあることから、この冊

子を通してあらためて県内の指定文化財を確認してみたいかがでしょうか。なお「宮城県の文化財」各編は、図書館や生涯学習課で閲覧することができます。

<別表>

	国指定(重要文化財など)	県指定	市指定
「史跡・名勝編」	沼津貝塚、齋藤氏庭園	和泉沢古墳群、仁斗田貝塚	仙台藩鮎川唐船番所跡
「天然記念物編」	イヌワシ繁殖地、八景島暖地性植物群落	大指海域および双子島、鞍掛島、蹄島、黒島のウミネコ、ゴイサギ、アメツバメ、ウトウなどの繁殖地	吉祥寺や龍泉院のイチョウ雄勝荒魚化石群及び魚化石など
「建造物編」	石井閘門	持福院観音堂	旧石巻ハリストス正教会教会堂、旧観慶丸商店 など
「美術・工芸品編①(絵画・彫刻・工芸品)」	木造十一面観音立造(給分浜)	奥州石ノ巻図、木造男神像など	潮音(高橋英古)、毛利コレクション、零羊崎神社奉納絵馬 など
「美術・工芸品編②(書跡・典籍/古文書・古碑/考古資料/歴史資料)」	岩版		平塚ツナ家文書、多福院板碑群 など
「無形文化財・民俗文化財・保存技術編」	石盤葺、雄勝法印神楽	おめつき、桃生はねこ踊、皿貝法印神楽 など	渡波獅子風流、和洲法印神楽、木造和船(江島サツバ) など

まきチャンネル + プラス



「河北せり」が地理的表示(GI)保護制度に登録されました

宮城県産の農産物類としては初めての登録!!

河北地区で栽培されている「河北せり」が、昨年12月23日、地理的表示(GI)保護制度に登録されました。GIとは、伝統的な生産方法や気候・風土・土壌などの生産地の特性が品質に結び付いている農林水産物・食品などの製品の名称(地理的表示)を、知的財産として農林水産省が登録し、保護する制度です。

農林水産大臣登録第104号

「河北せり」は、季節によって「根せり」と「葉せり」の異なる味わいが楽しめます。根つきの状態で流通する「根せり」は、10月～3月中旬に県内外に出荷されており、地元では正月のお雑煮に欠かせない食材として定着しています。

「葉せり」は、「飯野川在来」という品種に限定して栽培され、早春に芽吹いた新芽の莖葉のみを刈り取って出荷しています。根がついていないため日持ちせず、地元には流通しない大変希少な春の味覚です。ビタミンCやミネラル・食物繊維などの栄養素が豊富で、おひたしや浅漬けなどの食べ方で親しまれている「葉せり」は、4月～5月中旬頃まで、道の駅「上品の郷」などで販売されています。



桃生 減塩食品店マップの意見集約

桃生地区食生活改善推進委員会が研修会



Topic of town まちの話題



桃生地区食生活改善推進委員会の令和2年度第3回育成研修会が1月22日、桃生公民館で開かれました。本年度最後の研修会には推進員11人が参加。桃生総合支所保健福祉課の栄養士を交え、近所から集めたみそ汁などの塩分濃度測定や、年度内に作成する減塩食品取扱店マップの意見集約をしました。またコロナ禍で例年と異なった本年度を振り返りながら来年度の活動も話し合いました。

河北 日ごろの防犯活動たたえる

市防犯協会河北支部に感謝状

河北警察署の令和3年感謝状贈呈式が1月20日に行われ、防犯灯・街路灯の見回りや防犯パトロールなどに取り組む市防犯協会連合会河北支部が表彰されました。山田信敏署長から感謝状を受け取った佐々木清勝支部長は「これを励みに、今後も住民の安全・安心のために頑張ります」と話しました。贈呈式では防犯、交通安全や警察業務を支援する8団体と16個人に感謝状が贈られました。



石巻 貴重な歴史の資料を守ろう

多福院で文化財防火訓練

文化財防火訓練が1月24日、吉野町の多福院で行われました。多福院関係者と市教育委員会、消防関係者ら43人が、寺北側で枯れ草火災が発生したとの想定で、通報、初期消火、重要物品持ち出し、放水の各訓練を行いました。1月26日の文化財防火デーにちなみ、市内7地区持ち回りで毎年実施していますが、今年はコロナ禍の影響で、地域住民による水バケツリレーなどは取り止めました。



河南 玄米ダンベル体操で健康増進

音楽に合わせてリズムミカル

「みんなの楽しくダンベルクラブ」が1月26日、遊楽館で開かれ、玄米ダンベル体操を通じた健康づくりに取り組みました。「かなん楽しくニギニギ隊」の会員と一般計27人が参加。ダンベルの代わりに、玄米が入った棒状の布袋を両手に持ち、音楽に合わせてリズムミカルに腕や体を動かしました。新型コロナウイルス感染症の拡大防止を図った上で昨年7月に再開、毎月1回開催しています。



雄勝 豪華景品求め多くの来場者

おがつ・たなこや大抽選会

「おがつ・たなこや大抽選会」が1月10日、雄勝観光物産交流館で行われました。同交流館と雄勝硯伝統産業会館の店舗で、年末年始の買い物500円ごとに抽選券1枚を配布。全国共通ギフト券や牛肉詰め合わせなどの豪華景品が用意され、コロナ対策で等間隔を空けながら多くの人が並びました。胴ばやし獅子舞味噌作愛好連の獅子舞披露や紅白餅の配布もあり、来場者を楽しませました。



牡鹿 「いじわる鬼」を退治したよ

牡鹿地区保育所で豆まき

牡鹿地区保育所で2月3日、節分の豆まきが行われ、1～5歳児22人が心の中の「けんか鬼」「いじわる鬼」などを退治しました。子どもたちは各自で手作りした鬼のお面や帽子を身に付けて参加。ひよこ、うさぎ、ぱんだ、きりんの各組に分かれ、年長組の男の子がまいた紙製の豆を拾い集めました。最後は牡鹿総合支所職員と先生が扮した鬼に全員で豆をぶつけ、一年の幸福を願いました。



北上 心の中の鬼もやっつけよう

相川保育所で豆まき

相川保育所の豆まき会が節分の2月2日に行われました。14人の入所者が自作の鬼の面をかぶり、金棒を持った怖い青鬼に「鬼は外、福は内」と元気よい掛け声を挙げ、新聞紙をまるめた豆を投げつけました。目の前の鬼だけでなく、自分たちの心の中にある「泣き虫鬼」「野菜嫌い鬼」に打ち勝つ思いも込めました。先生たちは「病気をせず、友達と元気に遊んでほしい」と願っていました。

